

Daily Chronicle

流されゆく日々

連載9183回

痛む脚を引きずって④

五木寛之



〔昨日のつづき〕
 刊ゲンダイの健康記事に、「おしえてドクター」という欄がある。先日、そこに「腰痛、膝・股関節痛、肩こりの本当の原因は仙腸関節の異常だった」というレポートがでていた。(Vol.10)内容をひとまとめにすると、こうなる。

「ヘルニアや狭窄、関節の変形など、画像検査で確認できる異常が痛みやシビレの原因だと言いつつ、実は腰に限らず股関節、膝の痛み、肩こりなどの8割は、骨盤に

ある仙腸関節の動きの異常が、その85%以上が原因を特定できていないという。その通りだ。諸説いろいろあつて、西洋近代医学でも、東洋医学でも、なかなかこれという治療法がないのが現状である。

ところが、住田豊彦医師によると、
 「ヘルニアや狭窄、関節の変形など、画像検査で確認できる異常が痛みやシビレの原因だと言いつつ、実は腰に限らず股関節、膝の痛み、肩こりなどの8割は、骨盤に



PHOTO 石山 貴美子

定できないのだそうである。田医師の説では、仙腸関節に機能障害が起ると、背骨や手足に至るさまざまな部位に筋肉の異常な緊張が起ります。この緊張を痛みやシビレ、コリ等の症状として感じます」

仙腸関節の動きは1センチとごくわずかなため機能障害を起しやすいのだという。仙腸関節、か、ふーと納得するところがあつて、友人の作家にその話をウケ売りした。ところが彼は、含み笑いをかべつつ、「ゲンダイの記事は面白い、MS(項)いい」

「仙腸関節に機能障害が起ると、背骨や手足に至るさまざまな部位に筋肉の異常な緊張が起ります。この緊張を痛みやシビレ、コリ等の症状として感じます」

田先生のクリニックで一度みてもらおうか、と考える。腰痛のような国民病さえも正確な原因把握、治療法が確立されていない現状に、不安と不満をおぼえるからだ。高度な難病を奇蹟のような高度な技術で治療する一方で、世間の皆が悩んでいる平易な問題に対応できないのはなぜだろう。どこか変だ、と思うほうが変なのか、それとも近代医学に根本的な錯覚があるのか、どうもよくわからない。(MS項)いい